

研究課題名	術前心電図の多棘性 QRS 波は経カテーテル大動脈弁留置術後の予後予測因子として有用である： 単施設後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	大動脈弁狭窄症に対して行われる経カテーテル大動脈弁留置術は外科的大動脈弁置換術と比べ低侵襲であるため、外科的大動脈弁置換術を受けることができない高リスクの方が対象となります。これまでに心電図検査で解析される多棘性 QRS 波は心血管合併症の予測因子として報告されていますが、経カテーテル大動脈弁留置術の予後との関連を調査した報告はありません。本研究では手術前に行われる心電図検査で多棘性 QRS 波の有無を確認し、周術期合併症の予測因子として有用であるかを遡って調べる研究です。
研究を行う期間	「機関の長の実施の許可日」～2023 年 12 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2016 年 1 月 1 日～2020 年 8 月 31 日の期間に大阪市立大学医学部附属病院において、経カテーテル大動脈弁留置術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患、心電図検査、麻酔記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行い、他の機関に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科麻酔科学 研究責任者 辻川翔吾
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 辻川 翔吾 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス：shogo.tsujikawa@gmail.com